

(別紙)

提出書類の区分	<input type="checkbox"/> 温室効果ガス排出抑制計画書 <input checked="" type="checkbox"/> 温室効果ガス排出抑制計画書 (変更)				
住所 (法人にあっては、主たる事務所の所在地)	東京都千代田区二番町8番地8				
氏名 (法人にあっては、名称及び代表者の氏名)	株式会社セブン-イレブン・ジャパン 代表取締役社長 永松 文彦				
主たる業種	58飲食料品小売業				
事業概要	コンビニエンスストア				
事業者の区分	<input type="checkbox"/> みやぎ県民の住みよい環境の保全等に関する条例施行規則第9条第1号に該当する特定事業者 <input checked="" type="checkbox"/> 同規則第9条第2号に該当する特定事業者 <input type="checkbox"/> 同規則第9条第3号に該当する特定事業者 <input type="checkbox"/> 同規則第9条第4号に該当する特定事業者 <input type="checkbox"/> 特定事業者以外の者				
計画期間	3 年度 ~ 7 年度				
排出状況及び目標 温室効果ガスの	目標設定の方法	基準年度の実績① 2 年度	前年度の実績 年度	目標年度② 7 年度	増減率 (②-①)/①×100
	総排出量	8,525 t-CO2	t-CO2	8,099 t-CO2	-5.0 %
	原単位の排出量				%
原単位の考え方					
目標達成のための基本方針	<p>●セブン&アイグループの環境宣言『GREEN CHALLENGE 2050』において、「脱炭素社会」を目指すべき社会の姿として掲げ、店舗運営に伴うCO₂排出量を2013年度対比で2030年までに▲50%、2050年度までに実質ゼロを目標に、省エネ、再生可能エネルギーの利用拡大を進めていく。</p> <p>●新店、改装店、既存店への省エネ設備の導入、加盟店における省エネの取組促進により、店舗の電気使用量を削減し、CO₂排出量総量の削減に努めていく。</p>				

<p>目標達成のための 推進体制</p>	<p>●セブン-イレブンは、当社の事業にかかわる環境負荷を低減するために、1991年に各部門を横断する「環境対策プロジェクト」を発足。その後、サプライチェーン全体での取組を進めていくために、2011年に「環境対策プロジェクト」を改称して、「環境部会」を発足させた。同部会は、2013年からISO14001に基づく環境マネジメントシステムの中心的な役割を担うようになった。 環境部会は、各部門の環境対策の進捗状況を確認し、課題を明らかにして、継続的な改善に向けて取組を実施している。</p> <p>●コンビニエンスストア事業と地球環境保全の調和をめざし、本部と全国の事務所、直営店を対象に、2014年から国際規格の環境マネジメントシステムISO14001認証を取得。 この環境マネジメントシステムISO14001を運用することで、環境に対する様々な取組を進めている。各部門の取組として、ISO担当者が最新の環境知識の習得や技術の導入検討を進めるため、独自のテキストを使ったSDGsに関する情報発信や、環境イベントへの参加を促す等、各部門が効果的な活動を考え取組を行っている。 今後も環境マネジメントシステムISO14001の運用を継続して、地球環境に配慮した事業運営に努めて参ります。</p>
<p>目標達成のための 措置の内容</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●新店、既存店への省エネ設備導入 ●店内正圧化機器、IHフライヤーへの入替 ●老朽化空調入替、新型LED照明への入替 ●省エネ重点対策6項目に沿った、加盟店での省エネ活動促進
<p>特記事項</p>	